



☆☆更なるキャリア支援の展開を望んで ☆☆

新代表に川端氏、事務局長に大島氏

2010年6月13日、キャリアサポートネットワークは第7回通常総会を開き、事業報告などの承認とともに、役員改選を行い、新代表理事川端康生以下、下記の新役員を選任されました。

前代表 大島啓孝は事務局長として引き続き、CSNの事務機能や渉外など活動の主業務を担います。

新体制の意味と今後の目指すところについて、新代表 川端康生のコメントを掲載します。

また、新体制として、各理事の担当部門として営業、企画、広報、教育の各部門、事務局を設置いたします。各理事の担当は以下の通りです。

営業部門	岡田副代表	砥板副代表
企画部門	水間副代表	土井理事
広報部門	大平理事	小貫理事
教育部門	笠原理事	
事務局	大島理事	



●新体制について

キャリアサポートネットワークは発足以来高校生向けキャリア支援事業から大学生、若者支援、女性支援など活動を広げて

きましたが、高校生へのキャリア教育調査研究事業が21年度で終了したこともあり、今後の事業取組の構築を図らねばなりません。

前代表 大島理事より組織を一新し、よりCSNの人材能力を活用しNPOとして活性化していくべくという提案があり、理事改選の時期もあり総会および理事会にて下記の通り、新体制を選出いたしました。

代表理事 川端康生

副代表理事 岡田 昇

水間真弓

砥板正昭（新任）

理事 大島啓孝

大平隆司

小貫伸一（新任）

笠原路子（新任）、

土井恭子（新任）

監事

安藤智吉、市川潤一

平成22年度の事業は既存の事業の他、

営業部門により現在のチャンネルだけでなく新チャンネルの開拓を行います。

企画部門は、CSNが高校生支援などにおいてCSNの強みがどこにあり、どう貢献できるのかを明確にするために外部へ提供できるプログラムの作成を行います。

広報部門は、CSNだよりを通じての広報活動のほかにブログの活用を推進し、タイムリー、より広範囲への情報提供をめざします。

教育部門は、CSNの提供するプログラムをより広く提供していくためにCSN会員のスキルアップの研修会の企画を担当します。特にCSNの得意とする高校生、若者へのキャリアカウンセリング、講師スキルの標準化をめざしたいと思えます。

事務局には、従来の外部提携先との交渉、経理業務などCSNの組織維持のための管理業務を担当します。

それぞれの担当業務はときに相互に連携しあいながら、CSNの今後の活動を発展していくことをめざし、高校生、大学生、若者、等、世の進路に悩む多くの人たちへ貢献できる活動にしたいと思えます。

敬愛大学（千葉市）にて実施

■キャリア基礎開発講座

敬愛大学にて平成21年度より前期授業として、「キャリア基礎開発講座Ⅰ」を担当、引き続き平成22年度も実施しています。この授業は敬愛大学キャリアセンターが主管するキャリア関連講座の一部を構成するもので主に2年生を対象とした、就職活動、社会人としての基本的考え方、行動、などについて学ぶ講座です。

前期のみの講座なので期間は4月から7月の3カ月となり、都合14回の連続授業となる長期の授業です。単なる座学ではなくグループワークを中心にした実践的な授業を実施しています。

■授業の特徴

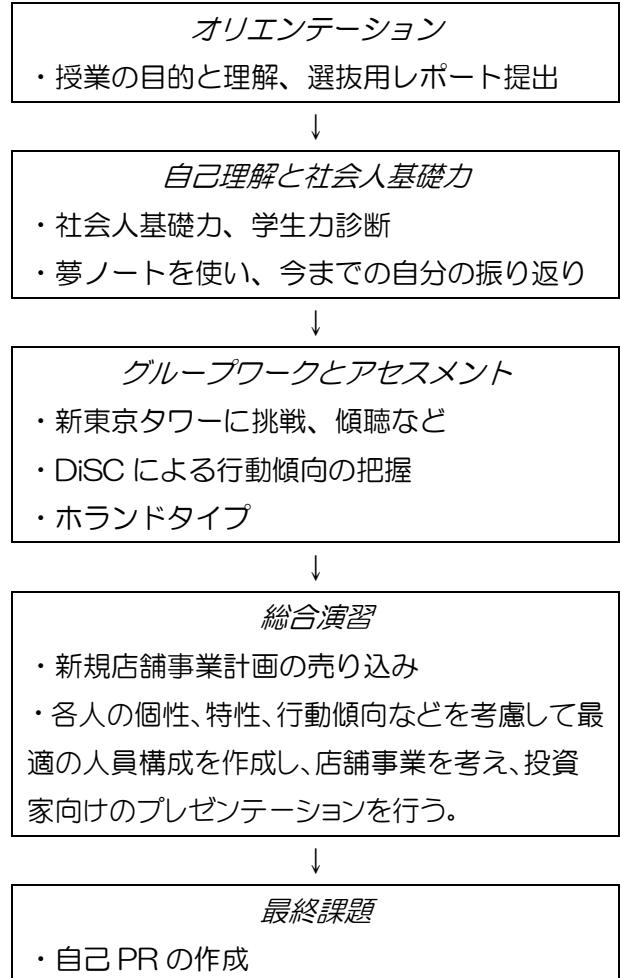
自分自身を知るために、過去の自分の振り返りや自分自身の行動傾向を知るために、DiSCや各種のツールを使って客観的に把握し、自分は何をしたいのか、何ができるのか、特徴は何か、などを確認します。また他人の行動傾向を理解することによって、コミュニケーションをスムーズにすることができる練習を行います。

プレゼンテーションも重要なコミュニケーションの一つとして座学とともに実際に各グループで資料作成、発表し、さらにいくつかの課題発表も実践する場、として設定しています。

またグループは2回目の授業以降、メンバーは固定しており、企業で配属された状況を体験しています。ほとんどのワークがこのグループ（つまり組織）で取り組むことにより、企画、制作、プレゼンを通して、主体性や働きかけ力や発信力、対人コミュニケーションを理解し、それぞれの特徴に応じた役割分担を担うことにより、それを通じて自分の個性や得意なことを理解することを狙っています。

最終的に全体を通じて、社会人基礎力（仕事をするうえで必要な能力）を伸ばし、自分の特徴、個性を確認して、エントリーシートを意識した自己PRができるようになります。

カリキュラム（授業概要）



担当講師の感想

まだ2年生なので人前での発表や自分自身の



振り返り、などかなり戸惑っていましたが、しかしグループワークを通して自己認識（個性、特徴など）、

社会のルール、などの理解が深まり、それを理解した役割分担などもできるようになり一段と成長したように感じられました。

担当講師陣



大島

小貴

水間

キャリアカウンセラー派遣事業

千葉県立松戸馬橋高等学校では、平成19年度から行ってきたキャリア教育調査研究事業の一環としての進路・キャリア相談について、今年度もPTA会の協力を得ることで延長実施することとなりました。

■同校の進路指導 小橋教諭の話

外部のキャリア・カウンセラーの方に来ていただくということで、当初は学校側にも戸惑いはありました。進路相談をする専門室も設けなかったのですが空き教室の関係でそれも難しく、進路応接室と進路指導室で対応することになりました。進路指導室の片隅でキャリア・カウンセラーの方と近い距離で相談する生徒の姿も見られ、教員とは違った視点からのアドバイスが役に立ったと多くの生徒が回答しています。

以前は卒業時の進路未定率は20%を大きく超えていましたが、平成19年度以降は卒業時の進路未定率は11%台と半減しました。キャリア・カウンセラーの方による進路相談という選択肢が増えたことにより、生徒が自らの進路について積極的かつ主体的に考える機会を多く持つことができたのが大きな要因であると考えられます。

今年度は、PTAの協力により、実施回数や時間帯の変更はあるものの、生徒が引き続きキャリア・カウンセラーの方に相談できる態勢を整えることができました。ひとりでも多くの生徒が進路実現に役立ててくれるように願っています。また、キャリアカウンセラーの方たちには、進路相談に加え、面接の練習や基礎ガイダンスなどにも協力していただくことを検討していきたいと思えます。



■キャリアカウンセラーの派遣について

岡田 昇



松戸馬橋高等学校に初めて訪れたのは、平成19年の春でした。私自身も相談に応じながら、同校の生徒さんたちの元気よさに、よい進路選択を願い、そのためにはほんのちょっとした知識や情報を得ること、ほんのちょっとした視野の広がりでもっと可能性が広がると感じていました。今回この事業の延長ができたことをとてもうれしく思っています。

■キャリア・カウンセラーから



「私たちが外部の人間ということもあり、生徒たちが本音の話をしてくれることも多く、カウンセラーとして真剣勝負で生徒たちと接しています」
 (市川潤一)



「生徒さんの家庭の経済状況を反映してか、相談内容がより切迫してきたように感じています。その分、就職の意志をしっかりと持った生徒が増えてきた気がしますし、これまでの同校の取り組みの効果でもあるかもしれません。生徒さんたちの真摯な要望に応えられるカウンセリングを目指したいと考えています。」
 (笠原路子)



「生徒さんの中には自分の学力に諦観し、やっても無駄と進路にあきらめがちな生徒もいます。しかし「自分の未来は自分の努力で変えられる、行動することから始められる」と訴えています。未来を背負う若者と貴重なふれあいの機会に感謝しながら・・・(関本喜茂)



「2回目、3回目の面接でようやく内定を取り付けた生徒が進路指導室に居た私を見つけて「ニコッ」と満面の笑顔。「ヨッシャー」と握手する。苦勞した生徒さんほど自分の進路が決まったことに顔が輝く、そんな人生の転機にちょっとした手助けができることを目指しています。」(宮田允夫)

Message from CSN Member

第7回 佐原 成人



● CSN との出会い

学校を卒業後、地上職として航空会社に入社。早期希望優遇退職制度を利用し12年間勤めた会社を退社後 人事を中心として幾度となく転職を繰り返しました。転職先で、採用や社員の仕事に対する悩みなどに関わる内、また自分自身の数回に及ぶ転職より「キャリア」に対する価値観に変化が生じていた中、キャリアカウンセラーという資格を知り、キャリアカウンセラーになるための講義などを受け、筆記試験と実技試験を受けたのですが、筆記試験にはパスしたものの実技試験をパスすることができませんでした。

2007年4月より過去の経歴を生かし成田空港で単身赴任にて転職・就業することとなりました。会社の都合もあり現業部門での採用となり就業している中、キャリアカウンセラーの資格を取得し生涯にわたりキャリア支援に何らかの形で携わりたいと考えるようになり、2008年にキャリアカウンセラーの資格を取得致しました。

仕事で直接、キャリアカウンセラーの仕事を生かせる場面が少ない中、インターネットでCSNを知り会員となり活動を続けています。CSNでは、キャリアカウンセラー等の諸先輩方々と一緒に活動することができ大変有意義に感じております。

千葉県のとある高校で、採用面接の指導の為教壇に立ち、就職活動を前にした高校生に対し面接指導の支援を実施したことなど活動の意義を感じております。これからも、生涯を通じた職業選択を含めた生き方の過程の支援の為、CSNを通じて携わっていきます。

<CSN イチオシの書籍>

「内定を勝ち取る方法」 高田茂著

アспект社

敬愛大学キャリアセンター長、高田氏が就活の鉄則を説く。高田氏は中堅・新興大学生約1万人以上を内定させた経験から現実的な就活では、一流評論家などに翻弄されることなく、親身になってくれる助言者に耳を傾け、自分の人生を切り開いて行く人が就活でも勝利するというもの。



「型破りのコーチング」平尾誠二/金井壽宏著 PHP 新書

著者はラグビー元日本代表監督の平尾氏とキャリア・アンカー等で著名なエドガー・シャインの弟子で現在神戸大学教授である金井氏。両者の対談形式で、今時の若者に対するコーチングをラグビーを例にとり分り易く解いてい



る。型破りの型とは、世阿弥の言う「守・破・離」の破の意味合いを言っている。体力も技術力も外国人と並んだが、精神的タフネスでの差がプレーの差になっていると平尾氏は指摘している。指導者にとって一読の書である。 記 大平)

編集後記：新代表理事のもと、新体制でCSN活動がスタートしました。会員も増えてきましたので、今後も活動範囲が広がることが期待できます。就職難の今、高校生、大学生の就職相談も増え、キャリア・カウンセラーの仕事が益々重要視されてきます。しかし就職支援という場面での活躍の場が増えるのは、果たしていいことなのか、そうではないのか、複雑です。

キャリアサポートネットワークの活動にご協力を

CSNでは、ここに掲載した活動以外にも、千葉県内を中心に活動を行い、また千葉県とNPOの協働事業へ提案するなど積極的に活動を広げていきます。活動に直接お手伝いいただける方だけでなく、事務処理など皆様のできることからご協力いただける方を募集しています。この『CSNだより』をお読みになって、興味を持たれた方、ぜひご一報ください。

■事務局 千葉県船橋市緑台1-3-1-304 TEL 047-440-1790/FAX 020-4662-2067
 MAIL info@cs-network.jp ホームページ <http://www.cs-network.jp>

